

令和4年度分報告書 会社名〔友愛工業株式会社〕

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

当社は、平成23年4月15日に、山梨県が発注する笛吹市を施工場所とする石和地区特定土木一式工事について、同業他社と受注予定者を決定し、受注出来るようにしていたことが独占禁止法に違反するとして、公正取引委員会から、排除措置命令と課徴金納付命令を受け、それに伴い山梨県から違約金の支払い請求もされました。この事により山梨県をはじめとし、各自治体、取引様各位、社員、従業員とその家族など、関係する多くの皆様に多大な御迷惑と御心配をお掛けする結果となり、当社と致しましても重く受け止め、誠に申し訳なく皆様に深くお詫び申し上げますと共に、心より反省しております。

当社は、今後二度とこの様な事態を招かないように、会社を挙げてコンプライアンスの徹底に取り組み、再発防止に努めていく所存であります。

当社はこれまで、各種団体への支援、ボランティア活動、災害支援等を通じて、地域経済に多大な貢献をして参りました。その貢献が評価され、多数の表彰や実績もあります。これからも活動を通じて、当社の資源を生かし、地域貢献活動や災害支援等に積極的に貢献し、地域の皆様から信頼される企業を目指し、さらには山梨県建設業界、山梨県全体の健全な経済の発展に大いなる貢献をしていきたいと思っております。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反する事のないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

(2) 取組の趣旨

ア 独占禁止法に二度と違反しないためには、第一に、各社毎に違反行為の未然防止のための社内体制の整備と継続を行うことが不可欠である。

イ 第二に、談合行為は複数当事者による違反行為であることを考慮すれば、各社毎にのみならず、業界一体となつての再発防止策の取組みも不可欠である。

(3) 活動の概要

ア 独占禁止法等法令遵守についての社内行動指針の作成（排除措置命令に基づき作成済）と社員、従業員への周知徹底。

イ 自社の役員、営業担当に対する法令遵守の当社独自勉強会の実施。

ウ 笛吹建設業協会における全会員の営業担当者若しくは、役員に対する定期的な独占禁止法研修会の実施。

(4) 主な活動の詳細

① 社員、従業員への周知徹底

実施日：令和3年8月3日

場所：自社会議室

内容：独占禁止法違反、再発防止について

参加者：全社員、従業員（10名）

効果：独禁法違反は法律違反であり、その社会的責任の大きさや社会的信用の欠落、経済的損失の説明が行えた。

感想と課題：社会的責任の重要性、企業リスクについて理解を得られた。
課題として、各部門毎への周知も必要である。



② 法令勉強会

実施日：令和3年10月29日

場所：笛吹建設業協会会議室

内容：独占禁止法違反、再発防止について

参加者：関係企業役員（1名）

効果：独禁法違反と再発防止について理解した。

感想と課題：各社役員が参加した事により、改めて独禁法違反の重大さを感じた。



③ 法令勉強会

実施日：令和3年12月20日

場所：笛吹建設業協会会議室

内容：独占禁止法違反、再発防止について

参加者：関係企業役員（1名）

効果：独禁法の改定を理解した。

感想と課題：独禁法の改定により、改めて企業的損失の重大さを感じた。

課題として、各社毎の周知が必要である。



④ 社員、従業員への周知徹底

実施日：令和3年12月23日

場所：自社会議室

内容：独占禁止法違反、再発防止について

参加者：全社員、従業員（15名）

効果：独禁法の改定の説明を行い、改めてその社会的責任の大きさや、企業リスク、ダメージの説明が行えた。

感想と課題：社会的責任の重要性、企業リスクについて理解を得られた。

⑤ 法令勉強会

実施日：令和4年1月21日

場所：笛吹建設業協会会議室

内容：独占禁止の改定と大手企業の措置実施状況の勉強

参加者：関係企業役員（1名）

効果：独禁法の改定を理解した。

感想と課題：社会的責任の重要性、企業リスクについて理解を得られた。
各部門毎への周知をした。



⑥ 法令勉強会

実施日：令和4年2月17日

場所：笛吹建設業協会会議室

内容：独占禁止法について

参加者：関係企業役員（1名）

効果：独禁法、独禁法の改定について会員企業が理解をする事が出来た。

感想と課題：会員各社が独占禁止法、改定について理解する事ができた。

課題として、毎年会員企業に対しての専門家を招いた研修会が必要。



⑦ コンプライアンス研修会

実施日：令和4年3月22日

場所：笛吹建設業協会会議室

内容：独占禁止法について

参加者：笛吹建設業協会会員企業 当社2名

効果：独禁法、独禁法の改定について会員企業が理解をする事が出来た。

感想と課題：会員各社が独占禁止法、改定について理解する事ができた。

課題として、毎年会員企業に対しての専門家を招いた研修会が必要。



(5) 経費の報告

分類	金額	備考
①自社勉強会		
光熱費	30,000円	
人件費	45,000円	8,000円×8名×半日(1/2) + 13,000円×役員2名×半日(1/2)
資料代	1,650円	165円×10名
小計	76,650円	
②法令勉強会		
講師費用	80,000円	
人件費	13,000円	13,000円×役員1名
小計	93,000円	
③法令勉強会		
講師費用	80,000円	
人件費	13,000円	13,000円×役員1名
小計	93,000円	
④自社勉強会		
光熱費	30,000円	
人件費	65,000円	8,000円×13名×半日(1/2) + 13,000円×役員2名×半日(1/2)
資料代	2,475円	165円×15名
小計	97,475円	
⑤法令勉強会		
講師費用	80,000円	
人件費	13,000円	13,000円×役員1名
小計	93,000円	
⑥法令勉強会		
講師費用	80,000円	
人件費	13,000円	13,000円×役員1名
小計	93,000円	
⑦コンプライアンス研修会		
講師費用	100,000円	
人件費	26,000円	13,000円×役員2名
小計	126,000円	
合計	672,125円	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する取組報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

(2) 取組の趣旨

峡東地域（笛吹地域）における災害時への貢献や、災害時の行動を迅速かつ正確に行い、地域防災活動の知識の蓄積と有事の際の活動を円滑にするために行う取組災害の分類としては、地震災害、河川氾濫災害、台風災害、交通災害が考えられ、地域特性として、河川、台風、交通災害を重点として取り組む。

(3) 活動の概要

- ア 近年の台風の大型化、線状降雨帯による大雨等により河川の氾濫確率は上がり、危険度は年々増しているため、河川内の堆積物の除去作業を行う。
- イ 災害時には、知識、設備、人材が必要であるため、災害の知識を得られる活動へ参加する。
- ウ 交通災害の抑止としては、日々の監視、管理が必要であるため、通学路等を中心に毎日のパトロールを行う。

(4) 主な活動の詳細

① 河川防災活動への参加

実施日：令和3年11月20日

場所：笛吹市御坂町金川の公園地内

内容：水防への知識共有、建設業の災害時の対応等

参加者：自社社員、従業員（10名）

効果：河川災害の過去事例等を経験者からお聞きする事が出来た。

感想と課題：実体験を聞くことで災害時の役割と必要性を感じる事が出来た。

災害時に迅速に対応するための建設資材の必要性を感じた。



② 河川内堆積物の除去作業への参加

実施日：令和3年11月20日

場所：笛吹市石和町笛吹川地内

内容：河川堆積物の撤去

参加者：自社社員、従業員数（15名）、建設重機

効果：河川氾濫の原因となる河川堆積物の除去が出来た。

感想と課題：堆積物の除去と共に、笛吹市のハザードマップの浸水5m以上の危険地帯であると認識する事が出来た。
継続して堆積物の除去を行う事が必要と感じた。



③ 日々パトロール

実施日：令和3年7月29日～令和4年3月31日

場所：笛吹市内

内容：通学路等の日々パトロール（朝夕1時間程度）

参加者：自社社員、従業員（5名）

効果：市内道路の認識と、笛吹警察署との連携により、人災や防犯の意識が高まった。

感想と課題：社内意識として、災害時の緊急避難経路として道路が重要な役割を担っている事を再認識できた。

また、警察署との連携を取る事で建設業者としての新たな役割を感じた。

(5) 経費の報告

分類	金額	備考
①河川防災活動		
人件費	215,000円	21,500円×10人
水防の際のドローン実演費用	200,000円	200,000円×1基
重機購入費	18,000,000円	災害時対応バックフォア0.5㎡ 18,000,000円×1台
重機購入費	6,000,000円	災害時対応ダンプトラック3t 6,000,000円×1台
小計	24,415,000円	
②河川内堆積物撤去活動		
人件費	322,500円	除去作業の人件費 21,500円×15人
重機リース代	60,000円	60,000円×1台
回送費	30,000円	30,000円×1台
小計	412,500円	
③日々パトロール		
人件費	2,150,400円	2,688円×5人×20日×8ヵ月
AED機材費	50,000円	50,000円(300,000/6年)×1台
運転手代	100,000円	20,000円×5台
燃料費	128,000円	1L×160円×5台×20日×8ヵ月
小計	2,428,400円	
合計	27,255,900円	

4 雇用の維持・確保、事業の高度化、効率化への積極的投資の取組報告

(1) 取組期間 令和3年7月29日～令和4年3月31日

(2) 取組の趣旨

- ア 人材不足が顕著となっている建設業において、人材の確保・維持は喫緊の問題となっているため、若手社員や、外国人技能実習生を積極的に採用し教育する。
- イ ICT技術等の導入、活用により事業の高度化、効率化を図り、社員、従業員の業務量の低減を行う。
- ウ 雇用改善（給与、福利厚生）を行い、人材育成の維持を行う。

(3) 活動の概要

- ア 事業度高度化、効率化より省人化を行い業務量の低減を行う。
- イ 雇用改善（給与改善、福利厚生の上昇）を行い、人材育成の維持を行う。
- ウ 雇用の確保のた為に建設業の魅力発信として説明会への積極的参加。

(4) 主な活動の詳細

① 杭ナビ、3D測量機を購入し、測量作業の効率化を行う。

実施日：令和3年9月

場所：現場各所及び自社会議室

内容：杭ナビ、3Dを測量機を使用し測量等の省人化を行う。
また、社員が現場で使用できるよう講習会を実施した。

参加者：自社社員（4名）

効果：測量時の補助員が必要なく、定点測量も可能となり効率化が出来た。

感想と課題：実体験を聞く事で災害時の役割と必要性を感じる事が出来た。
災害時に迅速に対応する為の建設資機材の必要性を感じた。



② 雇用・待遇改善

実施日：令和3年10月

場所：自社

内容：雇用改善（給与、福利厚生）

参加者：自社社員、従業員

効果：待遇改善（臨時賞与）、福利厚生等の向上により社内士気の向上がみられ、人材の維持に繋がった。

感想と課題：雇用・待遇改善により人材の維持と定着心の向上がされた。継続できるように健全な会社運営が必要。

③ 外国人技能実習生雇用採用

実施日：令和3年11月

場所：自社社員（2名）

内容：雇用改善（技能実習生受入）

参加者：自社社員（2名）

効果：技能実習生に対し、動画を用いて建設業の魅力を伝えたり、実際に工事実績（写真）を使用し現場の楽しさ、物造りの魅力を伝えることが出来た。

感想と課題：技能実習生には、言葉や資料より、建設業の魅力について興味をもって貰える事が理解出来た。課題として、継続して行くことが必要と感じた。

④ 現場説明会の開催、参加

実施日：令和3年10月19日

場所：新環状道路建設現場内

内容：実体験を用いた説明会

参加者：自社社員（3名×3日）

甲府工業高等学校

効果：高校生に対し、動画を用いて受発注者それぞれの魅力を伝えたり、実際に測量機器、ドローンを使用し現場の楽しさ、物造りの魅力を伝えることが出来た。

感想と課題：学生には、言葉や資料より、実体験（測量機、ドローン）の方が興味を持って貰える事が理解出来た。課題として、継続して行事が必要と感じた。



⑤ 地域ボランティア活動の開催、参加

場所：令和3年9月15日

内容：笛吹市地内

参加者：旅館組合とボランティア活動の実施

効果：自社社員（10名）

笛吹市地内において、旅館組合と協力し地域貢献、環境美化に努め、観光客や、地元住民への企業のイメージアップを図ることが出来た。

感想と課題：河川堆積物の除去と共に、笛吹市道路清掃、草刈を行いました。観光の町である笛吹市において、継続して堆積物の除去清掃を行う事が必要と感じた。



⑥ 小学生を対象とした体験学習の開催

場 所 : 令和3年12月3日

内 容 : 笛吹市石和東小学校 (石和こども園児)

参 加 者 : 全校生徒 (約160人) 社員 15人

効 果 : 小学生、園児達に建設車両 (はたらくくるま) に実車してもらい、建設業の楽しさ、凄さを感じて貰えた。建設業で将来働きたいと言ってもらえた。

感想と課題 : 小学生、園児達に建設車両 (はたらくくるま) に実車してもらい建設業の楽しさ、凄さを感じて貰えた。建設業で将来働きたいと言ってもらえた。



(5) 経費の報告

分類	金額 (円)	備考
①測量機講習会		
測量機購入費	3,500,000円	杭ナビ、3D測量機の購入3,500,000円×1台
光熱費	30,000円	
人件費	21,000円	8,000円×2名×半日(1/2) + 13,000円×2名×半日(1/2)
小計	3,551,000円	
②雇用・待遇改善		
福利厚生費	805,644円	3大疾病適用保険加入(日本生命) 14人
福利厚生費	72,000円	退職金積立(建設業退職金共済) 14人
福利厚生費	526,253円	死亡保険(アクサ生命) 14人
福利厚生費	150,000円	傷病時適用保険(商工会かいじ共済) 14人
従業員賞与	3,000,000円	社員、従業員、夏季冬季の正規賞与以外の臨時賞与 14人
小計	4,553,897円	
③外国人技能実習生雇用採用		
配属前に必要な費用	80,000円	40,000円×2人
入国費用他	919,440円	459,720円×2人
配属後に必要な費用	975,920円	487,960円×2人
毎月組合に必要な費用	720,000円	45,000円×8か月×2人
会社寮 リフォーム代	3,000,000円	1,500,000円×2部屋
小計	5,695,360円	
④現場説明会		
人件費	215,000円	21,500円×10人
動画、資料作製費	64,500円	21,500円×3人
テントリース代、椅子リース代	30,000円	
フルハーネス型安全帯費	300,000円	25,000円×12人
雑費	15,000円	消毒剤、飲料
小計	624,500円	
⑤地域ボランティア活動		
人件費	215,000円	21,500円×10人
稼働費	60,000円	機械バックホー 30,000円×2台
稼働費	30,000円	8tユニック車 30,000円×1台
稼働費	50,000円	4t・2tダンプトラック 12,500円×各2台
機械回送	30,000円	
小計	385,000円	
⑥体験学習		
人件費	322,500円	21,500円×15人
稼働費	70,000円	高所作業車
稼働費	30,000円	振動ローラー 2台
稼働費	60,000円	バックフォア 4台
資材費	35,000円	山砂12m³
資材費	150,000円	カラーコーン・コーンバー・ラインカー・フルハーネス安全帯
小計	667,500円	
合計	15,477,257円	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計
令和3年度	672,125円	27,255,900円	15,477,257円	43,405,282円
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				43,405,282円

○公正入札違約金額等

公正入札違約金額（1）	131,556,160円
調停条項で定めた令和3年内支払額（2）	1,950,140円
調停条項で定めた分割支払い分割額（3）	32,889,040円
（1）と（2）及び（3）の差額	96,716,980円

令和3年度	43,405,282円
令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	
残金	53,311,698円